

報告事項コ

令和5年度鳥取県スーパー工業士認定証授与式の開催結果について

令和5年度鳥取県スーパー工業士認定証授与式の開催結果について、別紙のとおり報告します。

令和5年12月27日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

令和5年度鳥取県スーパー工業士認定証授与式の開催結果について

令和5年12月27日
高等学校課

AI等の先進技術を活用できる次世代ものづくり人材である「鳥取県スーパー工業士」の初の認定(第1期生)及び認定証授与式を開催しましたので報告します。

1 令和5年度鳥取県スーパー工業士認定証授与式の概要

- (1) 開催日時: 令和5年10月26日(木)14時15分～14時35分
- (2) 会場: 鳥取県立図書館大研修室
- (3) 出席者: スーパー工業士認定者 18名
(鳥取工業高校3年生11名、米子工業高校3年生7名)
各学校関係者
- (4) 次第: 認定証授与、知事挨拶
認定代表者からの今後の抱負、記念撮影
- (5) 認定日: 令和5年8月24日



認定証を胸に平井知事と記念撮影

2 鳥取県スーパー工業士制度の概要

- (1) 目的 ものづくり企業が求める、生産現場でAIを活用できる次世代人材を育成するため、県独自の認定プログラムで学んだ工業高校の生徒を県が「スーパー工業士」として認定することで、認定者の就職や進学などのキャリア形成を支援する。
- (2) 認定要件 (ア) 認定プログラムを修了すること (イ) 高校の成績が優秀であること
- (3) 認定時期 3年生の夏
- (4) 認定プログラム

実施時期	認定プログラム	学習内容
2年生 (下期)	システムデザイン研修 (月1回/オンライン開催)	AIの基礎のほか、システムの基本的な構成要素、システム設計を行うための視点・考え方などを学び、AIツールを活用した画像判別システムを試作した。
	データサイエンス研修 (オンライン動画学習 UdeMy の動画を随時受講)	「社会におけるデータ・AI利活用」、「データリテラシー」 「データ・AI利活用における留意事項」を学習した。 (UdeMyの高校生の活用は全国初)
3年生 (上期)	【鳥取大学による総括講座】 AI・ロボット演習	システムデザインやデータサイエンス研修での学びを活かした演習として、移動ロボットを活用し、障害物をAIで画像判別する衝突回避アルゴリズムを構築した。

(AI・ロボット演習(鳥取大学工学部)の様子)
マイコン、モータ、カメラを積んだ簡易ロボットに、AIに画像判別させて障害物を回避するプログラム(各自考案)を実装し、走行実験。



ロボットへの配線、プログラミング



ロボット走行実験、プレゼン



(5) 認定者への支援措置

- ・スーパー工業士キャリア支援補助金：デジタル関連の資格取得等の費用を最大15万円(10/10)支援
- ・スーパー工業士認定者の進学、就職への活用

(6) 今後の取組

第2期生(県内5校/14名)のプログラム受講開始(令和5年10月から)